小学校
6年

平和とは

守口市立金田小学校

教科	道徳	単元名	平和とは

単元でつけたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつけたい力）
・真理を大切にし、物事の本質を見極め、探究しようとする心を持つ。
（学校図書館等の活用でつけたい力）
・情報を取捨選択し、スライドや文章作成、表計算ソフトなどの複数のソフトで相手や目的に応じて表現する。
・読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づく。

本単元で育む主な情報活用能力

D－STEP3
F－STEP3

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。

単元における学習の展開（全８時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第１次 （3 時間）	・平和学習の全体像を把握する。 ・DVD 視聴を通して、戦争時代の暮らしについて学ぶ。
第２次 （３時間）	・本、タブレットを活用して戦争や平和について調べる。（☆） ・修学旅行での平和記念公園や資料館の見学を通して、戦争や平和について学ぶ。 ・絵本『さかさま』を読み、平和を実現するためにできることを考える。（☆）（本時）
第３次 （２時間）	・調べたり、学んだりしたことをもとにプレゼンテーション用のスライドを作成する。 ・グループごとにプレゼンテーションを行い、クラス代表を決める。 ・クラス代表が全校集会にてプレゼンテーションを行う。

本時のねらい

絵本『さかさま　火の星と水の星』を読み、自分ならば「戦うか」「戦わないか」を考えることを通して、平和を実現することの難しさを感じ、答えなき問いに対してもより良い解決方法を生み出そうとする道徳的判断力を養う。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 （15 分）	１．問いに対して考えを持つ。 問い：平和を実現するために私達にできること ２．絵本『さかさま』を読む。 発問：水の星の人達に向かっていった時のルビーの気持ち。	・思考の土台をつくる。 ・絵本を活用する。 ・大まかな内容を確認する。
展開 （20 分）	３．考えを深める。 主発問：「戦う」「戦わない」自分ならどちらを選択するか。 ・グループで考えを共有し、立場を決定する。 ・全体で考えを共有する。 補助発問１：最悪の結果を想定し、再度検討する。 補助発問２：結末を確認し、どうすればよかったのか検討する。 ・グループで考えを共有し、立場を決定する。 ・全体で考えを共有する。	・「戦う」か「戦わない」かの二択にし、自分自身の考えを持ちやすくする。 ・どちらを選んでも悪い結果になる可能性があることを共有することで、平和を実現することの難しさについて感じられるようにする。
まとめ （10 分）	４．問いを再考する。 ・自分の考えを原稿用紙に記入する。 ・絵本が別の視点からも読めることを知らせる。 【児童の振り返り】 ・相手の気持ちになって考えることが大切。 ・逆の視点を考える必要がある。	・児童が自分から興味を持って絵本を読めるよう、別視点からの話は教員が読まずに終える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

子ども達は、これまでの生活経験や学校での学びを通して、戦争の悲惨さや平和の大切さについて理解している。しかし、緊迫した状況下において、問題の本質を見極め、平和的解決法を模索することの難しさまでを理解しているわけではない。授業では「自分ならどうするか」を子ども自身が考えられるように発問を工夫した。

絵本について子ども達が考えを深めている場面。